

若手研究者支援セミナー2021

北海道大学大学院文学研究院研究推進委員会主催

10/28(木)

18:15～19:45

Zoom開催 要参加申込

申込方法は公式サイトでご確認ください

対象：

- ♂ 修士大学院生
 - ♂ 博士大学院生
 - ♂ 専門研究員
 - ♂ ポスドク
 - ♂ 若手教員ほか
 - ♂ 学部生も可
- ※文学以外のからの参加も可

みなさんは、博士課程へ進学すると将来はアカボスを目指すものだと考えていますか？
博士号を取得したあと、アカボス以外の道に進むことは難しいと思いますか？

今回のセミナーでは、北大文学研究科（現文学院）博士後期課程を経て、大学をはじめ、アカデミア以外の場で活躍する方々からも多様な「キャリアパス」の可能性についてお話しいただきます。

- ♂ 修士課程に進学したけれど、博士課程への進学を迷っているひと
- ♂ アカボスの門が狭すぎて、研究を続けたいと思いながらも就職しようと思っているひと
- ♂ 博士課程に進学したけれど、将来のことが不安で落ち着かないというひと
- ♂ 博士号を取ってもアカデミアや研究職以外の仕事をしてみたくなったひと
- ♂ 研究も楽しいけど、他にどんな活躍の場があるのか知りたいひと

まずは先人の話を聞いて、自分自身の多彩な将来像をイメージしてみませんか？

話題提供者

本山 宏希（茨城大学人文社会科学部・准教授）

“大学院在学中および博士取得後の生活を振り返って”

松下 隆志（岩手大学人文社会科学部・准教授）

“翻訳の経験から考える文学研究の多様性”

細川 貴志（日東製網）

“「研究」と「実践」～企業で働きながら研究を続けるということ”

閻 慧（えんけい）（朝日新聞社）

“ある留学生の社会進出経験談”

司会・全体総括

宮嶋 俊一（宗教学インド哲学研究室・教授）

／研究推進委員会 研究支援専門部会長



博士号

たとえばこんな キャリアパス

